

新型コロナウイルス感染症に関するFMMCの取り組み

◇e-ネットキャラバン・標語

新型コロナウイルスによる休校・外出自粛の影響で、児童・生徒の皆さんも家でスマホ等に接する機会が多くなっており、「スマホ依存」や「ネット詐欺」、「デマやフェイクニュースの拡散」などへの注意が普段以上に重要です。

FMMCでは、児童・生徒の皆さんにインターネットの安心・安全利用を啓発する出前講座である「e-ネットキャラバン」を運営していますが、休校等で出前講座の実施が困難な状況にある学校の皆さん向けに、啓発動画等のリンクをご紹介します（<https://www.fmmc.or.jp/news/coronavirus2.html>）。

また、FMMCが事務局を務める「情報通信における安心安全推進協議会」は、標語の募集・表彰等を通じてインターネットの安心・安全利用の啓発に取り組んでいます。過去の受賞標語（<https://www.fmmc.or.jp/hyogo/>）も併せてご覧ください。

◇ネット社会協議会

FMMCが事務局を務める「ネット社会の健全な発展に向けた連絡協議会」は、ネット上の誹謗中傷など他人を傷つけるような書き込み・拡散の防止のための啓発に取り組んでいます。協議会では2020年春のキャンペーンポスターで「最近、新型コロナウイルスに関するいわれのない誹謗中傷をはじめとしたデマやフェイクニュースの流通も問題になり、そのような情報を拡散しないようにしましょう」と呼び掛けています。

◇Lアラート

FMMCは、自治体等が発信した災害等公共情報をメディア等に伝える情報基盤である「Lアラート」を運営しており、新型コロナウイルス関連の情報をLアラートの「お知らせ」機能を用いて発信・伝達している例があります。

「都道府県担当者研修」や総務省「実務担当者会議」の資料などで、全国の都道府県等の皆さんに活用例をご紹介します。以下のようなLアラートに発信された新型コロナウイルス関連の情報をご紹介します（https://www.fmmc.or.jp/Portals/0/resources/ann/commons/news/document/corona_commons_202005.pdf）。

◇調査研究

FMMCでは、ICT分野の発展に資することを目的として、政策・制度整備、市場開拓・拡大、技術発展、社会での利活用といった視点からテーマを設定して、自主的に調査研究を行ってきています。新型コロナウイルス感染症についても、世界のICT活用事例・政策動向等の最新情報を提供するページを開設しました（<https://www.fmmc.or.jp/news/coronavirus.html>）。

○主要国における新型コロナウイルスへの取り組み

- ・米国、英国、ドイツ、EU、中国、韓国

○ホットトピック（主な活用分野別の取り組み）

- ・感染拡大防止に向けた位置情報活用
- ・プライバシー、情報セキュリティについての政策動向
- ・公教育でのオンライン授業
- ・医療分野における情報通信技術の活用
- ・5G、AR、AIなど次世代情報通信技術の活用
- ・郵便・物流分野における新型コロナウイルス対策の動向、等